



かたはSP学生Office

教師を目指す学生による「学生文化」「学校文化」の創造と
新たな「学生と学校のWin-Winの関係」の構築

かたはSP通信

と ひ と 学 生 の ツ ム ぐ

第21号

2017年7月29日

編集 濱島和也
(片葩小SP担当)

2017年7月29日(土)

夏休みわくわく算数教室(事前説明会), スタート!!

今年も夏がやってきました。そして, ‘夏のわく算’の季節がやってきました。

今回初めて参加してくれる人も, 2回目・3回目の方も, 片葩小学校の子どもたちのために自分の時間を使ってください, ありがとうございます。華の大学生。友達と遊びに行きたい, アルバイトをしてお金が欲しい, そんな気持ちも心の中にあるはず。自分もそうでした。それでもこのボランティアに参加してくれたことに, 心からお礼を申し上げます。

このボランティアの経験が, これから教師になろうとしている人には必ず生きてきます。自分の教師としての原点は, このボランティアにありました。初めて会う子どもたちと距離を縮めていったり, ‘教える’ということの楽しさや難しさを感じたりすることができます。例えば, ドッジボールのボールの投げ方は, どうやってわかりやすく教えたらいいと思いますか? おそらく, みなさんは困るでしょう。これまで当たり前に行っていたことや何となくやってきたことを, あらためて‘教える’となると, 本当に難しいです。小学校1年生の子から, ‘ $8-3$ の答えはなんで5なの?’と聞かれたら, どう答えればいいでしょう。さっきのドッジボールと同じような気持ちになるのではないのでしょうか。

でも, このボランティアでは, こういう困ったときや迷ったときは, 自分の思うままに教えてみてください, どんどんやってみてください。まずは経験です。そして, 子どもたちと話をしたり, 触れ合ったりすることで, 楽しく実りのある時間にしてください。

また, コーディネーターの中村先生の話にもあったように, いろいろな大学からボランティアとして学生が集まります。積極的にコミュニケーションを取り, 情報交換をしてください。いっしょに採用試験の面接練習をしたり, 試験勉強をしたりするのもいいと思います。試験当日に, 同じグループで集団討論をする人がいるかもしれません。きっと心強いですよ。

出会った仲間と一つのチームとなって, 今年のわくわく算数・数学教室をがんばっていきましょう。



先輩たちの活躍を見に来てあげてください。そして, 打ち上げには必ず来ること!!!



P.S.

シニアSPのみなさん, 中村浩二先生
まだまだ現役バリバリです!(笑)